関大
発行所
関西大学校友会
〒564
吹田市山手町3丁目3番35号
発行人　金田雅一
電話06(388)1121代表
振替口座大阪3—55594番

新しい包装文化をひらく
ザ・パック

新時代の教育研究と個性化へ
社会的要請、変化に対応
平成元年度法人予算決まる

平成元年度学校法人関西大学の予算が、三月三十日開かれた評議員会で承認議決された。

予算編成の基本方針、事業の概要はつぎのとおり。

一、予算編成の基本方針

私立大学は、社会の多様な要望に応える高等教育機関としてますます多様化を進め、大学それぞれが特性を活かして特色と個性を備えつつ、わが国の研究の推進、創造的・専門的人材の育成、地域社会への貢献などに資することが期待されている。

関西大学は、建学の精神と一〇〇年の歴史、伝統によって育まれた固有の理念と学風とを社会的要請、変化に対応した学問の新たな動向、学生の関心とニーズなどを踏まえた自己革新のうちに培養しつつ特性を発揮するものと確信する。

平成元年度は、関西大学の新時代の高等教育、新たな教育研究の充実と個性化へ向けての胎動の年となろう。法人は、このような教育研究を支える人的・物的条件、制度的条件の充実のため多元的資金の獲得と財政基盤の強化に一層努力するものである。

国際交流の推進と充実

二、事業の概要

1、教育研究活動の重点項目

〈大　学〉

(1)研究と教育における国際交流の促進と充実

ア　国際交流関係業務組織の整備・充実

イ　研究者の国際交流の充実

①協定五大学との研究者の相互派遣の充実　(一七、九〇四千円)

②招聘研究者・講演者による講演及び学術交流の促進　(一四、八三六千円)

③招聘研究者・交換研究者による学生対象のセミナー・講演等の充実

ウ　学生の国際交流の推進

①学生交換留学の事前折衝　(三、六五〇千円)

②ハワイ夏期英語セミナーの充実(国際交流助成基金による補助費)　(三、〇〇〇千円)

③本学での夏期セミナー開設

エ　受入留学生への教育指導等の充実

①諸行事の充実　(二、一二〇千円)

②カリキュラムの整備

③私費外国人留学生授業料減免援助金の支給　(一九、二五八千円)

オ　国際交流助成基金による諸活動の整備・充実

①奨学留学生の派遣　(九、六〇〇千円)

②外国人留学生への奨学金支給　(三、六〇〇千円)

③記念会館竣工披露国際シンポジウムの開催　(二〇、〇〇〇千円)

カ　国際交流の促進に係る基本整備

①外国人研究者受入れのための宿舎確保他　(六、七五六千円)

合　計　一〇八、四〇三千円

(2)情報化社会に即応する教育、研究活動の充実

ア　関西大学学術情報ネットワークの構築他

イ　学外ネットワークへの加入

ウ　情報処理教育　六七、六六一千円

エ　電算システムによる教育研究関係他事務能率の向上　九一、六四三千円

(3)「開かれた大学」構想の諸施策の推進

ア　客員教授などの多様な人材による活性化の検討

イ　大学の活性化のための諸施策の検討

ウ　公開講座の実施

①東西学術研究所泊園記念講座、経済・政治研究所産業セミナー・公開講座、工業技術研究所公開講座他　六、一五一千円

②吹田市民教養講座他　六、五九五千円

③近郊、地方都市講演会　四、二二〇千円

生物工学科を新設

(4)学部、大学院、研究所等における教育研究体制の整備充実

ア　教員の総合研究、共同研究等を促進するなど研究体制の整備　三七、二〇〇千円

イ　AV教室の設置(経済学部・商学部)　一二、〇〇〇千円

ウ　パソコン小教室の設置(経済学部・商学部)　一三、一八〇千円

エ　マス・コミュニケーション学専攻実習用機器の充実(社会学部)　一八、〇〇〇千円

オ　工学部学科再編成

①金属工学科を材料工学科に改組

②平成二年度に向けて生物工学科の新設　五八、〇七五千円

カ　大学院社会学研究科社会心理学専攻博士課程の増設

キ　学術研究助成基金による奨励研究、共同研究の実施　一三、二七七千円

ク　大学院生等の教育研究体制の検討整備

①教育助成基金による大学院生に対する給付奨学金の支給　一二、一八〇千円

②大学院生研究発表補助費等の充実　一二、五一〇千円

ケ　大学院ホール他空調設備の設置　五二、二〇〇千円

〈高等学校・中学校〉

(1)学内進学制度を効果的にすすめるための強力な教育指導の推進

(2)情報教育の開発のための諸施策の実施

(3)学齢人口の急減に伴う対応策の検討実施

〈幼稚園〉

(1)独自性を発揮し、特色ある保育を実施する

(2)地域のニーズに応え、年中組四クラス、年長組四クラス、幼児学級(ひよこ学級)三クラスを継続する

2、図書館活動の重点項目

〈大　学〉

(1)館員の質量向上と蔵書構成の見直しによる図書資料の充実・整備

(2)類縁機関間の図書資料の効率的利用等の促進

(3)目録情報の蓄積と利用者検索システムの充実

(4)図書受入、目録作成業務の機械化システム開発の推進

(5)図書館サービス広報活動の推進

3、学生福利厚生活動の重点項目

〈大　学〉

(1)関西大学奨学貸付金　一六四、五五〇千円

(2)入学時貸与奨学金　四三、三一五千円

(3)家計急変者に対する応急貸与奨学金　三、八〇〇千円

(4)短期貸付金一、五〇〇千円

(5)学生教育研究災害傷害保険加入(継続)　一一、三八二千円

4、創立一〇〇周年記念事業の重点項目

(1)記念事業実施の推進

ア　一〇〇周年記念会館の建設(継続)

イ　「関西大学百年史通史編下」の刊行(継続)　一二、〇〇〇千円

ウ　「関西大学百年史資料編」の刊行一五、〇〇〇千円

エ　日・印共同学術調査「調査報告書」の作成　一、一六、〇〇〇千円(建物)

第四学舎実験実習場増改築(総額一三億八千万円のうち)　五〇〇、〇〇〇千円

第二部学生福利厚生施設設計調査費　二〇、〇〇〇千円

高校施設整備調査費　一、〇〇〇千円

中学校施設整備調査費　一、〇〇〇千円

5、教育研究施設設備整備充実の重点項目

(1)建物

一〇〇周年記念会館建設(継続)　一、六五〇、〇〇〇千円

渡り廊下風雨防止設備設置　一〇、五〇〇千円

高校集会室改造　一一、三九〇千円

(2)構築物

千里山構内下水管整備(第一期分)　一九〇、〇〇〇千円

特別高圧受電設備増設　三一、九〇〇千円

第一水源さく井　三七、六六〇千円

受水槽増設(第四学舎研究棟)　四四、〇〇〇千円

第一・第三水源～第二水源バイパス管敷設　二〇、〇〇〇千円

高・中・関大会館地区下水管整備(第二期)　八〇、〇〇〇千円

関大会館・教育会館送り高圧ケーブル敷設　一八、五〇〇千円

(3)建設仮勘定

(土地)

高機校地造成工事(継続)　(公共下水・道路の分担金含む)

関西大学資金収支計算書

平成元年4月1日から平成2年3月31日まで(単位：千円)

収入の部

科目	元年度予算	63年度予算	増減
1学生生徒等納付金収入	17,792,233	16,452,463	1,339,770
2手数料収入	2,119,825	2,119,332	493
3寄付金収入	407,256	805,800	△398,544
4補助金収入	2,774,122	2,926,222	△152,100
5資産運用収入	1,500,274	1,595,947	△95,673
6資産売却収入	520,000	500,000	20,000
7事業収入	149,883	92,810	57,073
8雑収入	462,587	372,870	89,717
9借用入金等収入	150,000	650,000	△500,000
10前受金収入	4,035,795	3,969,595	66,200
11その他の収入	5,023,329	3,179,130	1,844,199
12資金収入調整勘定	△4,586,694	△4,582,318	△4,376
13前年度繰越支払資金	6,428,220	6,048,178	380,042
収入の部合計	36,776,830	34,130,029	2,646,801

支出の部

科目	元年度予算	63年度予算	増減
1人件費支出	13,115,886	12,772,392	343,494
2教育研究費支出	4,500,608	4,050,307	450,301
3管理経費支出	1,071,804	855,189	216,615
4借入金等利息支出	501,197	506,365	△5,168
5借入金等返済支出	709,320	731,250	△21,930
6施設関係支出	4,817,135	3,628,835	1,188,300
7設備関係支出	1,194,726	1,123,832	70,894
8資産運用支出	2,655,004	2,747,405	△92,401
9その他の支出	1,977,117	1,979,686	△2,569
10予備費	100,000	100,000	0
11資金支出調整勘定	△781,726	△793,452	11,726
12次年度繰越支払資金	6,915,759	6,428,220	487,539
支出の部合計	36,776,830	34,130,029	2,646,801

秋には記念会館の全容が！

完成近い記念会館の工事。関大会館南西側に隣接しているプールのあったところ。

春の叙勲

政府は四月二十九日付で平成元年春の叙勲を、また叙勲に先立ち褒章受章者を発表した。これまで校友会事務局で確認した本学関係者を掲載します。(調査漏れがあるかと思います。校友のご協力を得て補足、充実をはかりたい)　順不同

◇勲三等旭日中綬章

西本　五郎氏(昭15専2法)　七十歳　(学)広島電機学園理事長　七三六広島県安芸郡海田町昭和中町四—一五

◇勲三等瑞宝章

井尻　昌一氏(昭14専2法)　七十四歳　元神戸市助役　六五五神戸市垂水区霞ケ丘一—四—三三

金山　正信氏(昭17大法)　七十四歳　同志社大学名誉教授　六一七長岡京市うぐいす台一七〇—一〇

◇勲四等瑞宝章

川根　洋三氏(昭16専2法)　七十歳　弁護士　五八四富田林市高辺台二—七—七

中島　輝弘氏　(昭17大法)　七十一歳　福助企業㈲代表取締役(食料品流通業振興)　五六〇豊中市上野西二—一二—一五

西村日吉鷹氏(臨16専2法)　七十歳　弁護士(日本弁護士連合会常務理事)　六五九芦屋市東山町一三—三

山本　栄二氏　(昭10専1経)　七十六歳　元芦屋市議会議員　六五九芦屋市楠町九—一五

◇勲五等双光旭日章

武田　佳次氏　(昭12大商)　七十五歳　日本珈琲貿易㈱代表取締役(食料品加工業振興)　五六二箕面市桜ケ丘三—一〇—二

山本　敬一氏　(昭19専2法)　七十歳　元大阪府議会議員(地方自治)　五四六大阪市東住吉区南田辺四—九—七

藍綬褒章

植野　一氏　(昭34学2法)　五十五歳　大阪府議会議員(地方自治)　五九八泉佐野市笠松一—四—一七

井上　紀生氏　(昭20大法)　六十九歳　立江寺学園理事長　六五二神戸市兵庫区北山町二二—一五

90年度入試概要決まる

関西大学の一九九〇年度入学試験実施概要が決まった。募集学部、学科、入員、試験期日、試験地は次のとおり。

◇第一部(昼間部)

法学部　法律学科、政治学科　六六〇名

経済学部　経済学科　六六〇名

商学部　商学科　六六〇名

社会学部　社会学科　六六〇名(社会学専攻、産業心理学専攻、マス・コミュニケーション学専攻、産業社会学専攻)

文学部　英文学科、国文学科、哲学科、フランス文学科、ドイツ文学科、史学・地理学科、中国文学科、教育学科　六六〇名

工学部　機械工学科、機械工学第二学科、電気工学科、電子工学科、化学工学科、応用化学科、金属工学科、管理工学科、土木工学科、建築学科　一〇一〇名

◇第二部(夜間部)

法学部　法律学科、政治学科　一三〇名

文学部　英文学科、国文学科、哲学科、フランス文学科、ドイツ文学科、史学・地理学科、中国文学科、教育学科　八〇名

◇試験期日、試験地

本学試験(大阪)▽法学部(第一部・第二部)二月一日(木)▽工学部(第一部)二月二日(金)経済学部(第一部・第二部)二月三日(土)

◇商学部(第一部・第二部)二月四日(日)▽社会学部(第一部・第二部)二月五日(月)文学部(第一部・第二部)二月六日(火)

地方試験　全学部　(第一部・第二部)試験場　札幌・仙台、東京、金沢、名古屋、広島、高松、福岡　二月四日(日)

◇寄付金総額　金　4,275,151,418円也

◇寄付者区分別寄付額

	件数	金額
法人	1,680件	2,217,495,888円
個人	35,641	1,802,410,054
団体	221	255,245,476
合計	37,542	4,275,151,418

◇寄付者分類表

	件数	金額
役員	147件	90,971,800円
校友	17,105	543,198,813
在学生及び卒業生の父母	13,803	974,691,988
教職員	5,003	375,803,422
企業法人	1,396	2,123,949,000
篤志家ほか	84	9,536,395
教育後援会	4	157,000,000
合計	37,542	4,275,151,418

注1.〔役員〕欄には、理事、監事のほか、顧問、評議員を含める。
2.〔校友〕欄には、オーナー企業を含める。
3.〔在学生及び卒業生父母〕の欄には、千寿会会員を含める。
4.〔教職員〕欄には、専任の教職員のほか、名誉教授、名誉校長、教職員退職者及び校友会職員、教育後援会職員を含める。
5.〔教育後援会〕欄は、日・印共同学術調査の事業費(1億3千万円)、並びに記念映画製作費の一部、絵画購入費(2千7百万円)に充てる指定寄付金である。

一〇〇周年記念事業
寄付者芳名録を発刊

関西大学は、このほど「関西大学創立一〇〇周年記念事業寄付者芳名録」と「同別冊」を発刊、関係者に配布した。寄付者芳名録には久井忠雄理事長、大西昭男学長の感謝のことば、寄付金総額、記念事業の実施概況と全寄付者の芳名が掲載され、別冊には団体で寄付した人の個人名が掲載されている。

同寄付者芳名録に掲載されている寄付金の分類、記念事業の実施概要などは別項の通り。(関連記事3面にも掲載)

坂本教授に英語俳句年間賞
米・ニューズウィーク誌から

関西大学教養部長、校友会組織部副部長の坂本悠貴雄文学部教授は、このほど米誌「ニューズウィーク」の第一回英語ハイク年間賞を受賞した。

最近、英語俳句の関心が高まっており、「ニューズウィーク」は昨年から英語俳句の投稿欄を設けており、同教授の次の句が選ばれた。

Tremor at noon
a wind-bell
stops ringing
〈風鈴のふと鳴り止みつ微震(ない)の昼〉

同教授はかつて短歌研究所新人賞次席を受賞している。

会と催し

▽経済人クラブ第一〇五回例会　五月二十五日(木)午後六時　ホテルプラザ

▽春秋会卒業五〇周年記念総会　五月二十六日(金)有馬温泉・月光園(一泊)

▽関大不動産鑑定士クラブ総会　五月二十六日(金)午後五時半　ターミナルホテル

▽北摂丹波支部総会　五月二十八日(日)午後一時　篠山市民会館

▽女子秀麗会総会　五月二十八日(日)正午　桜宮・大阪リバーサイドホテル

▽寝屋川市役所千里会総会　五月三十日(火)午後六時　大鳳閣

▽第五十一回定例代議員会　六月三日(土)午後一時半　大阪商工会議所・国際会議ホール

▽二部応援団OB会総会　六月三日(土)午後六時半　なにわ会館

▽柏原支部総会　六月四日(日)午後三時　サンヒル柏原

▽愛知支部総会　六月九日(金)午後六時半　東急イン

▽大阪倶楽部春季総会　六月十日(土)午前八時半　ホテル阪神前(篠山方面)

▽天六同友会総会　六月十日(土)午後四時　江坂・デリシャス

▽京都支部総会　六月十一日(日)午後三時　京都全日空ホテル

▽港支部総会　六月十四日(水)　港区民ホール

▽豊中支部創設四〇周年記念総会　六月十七日(土)午後六時　千里阪急ホテル

▽西成支部総会　六月二十三日(金)午後六時　上海園

▽東大阪支部総会　六月二十四日(土)午後二時　布施・わかば

▽国文学科同窓会　六月二十五日(日)午後三時半　太閤園

▽茨木支部創設三〇周年記念総会　七月一日(土)午後六時　茨木市福祉文化会館

▽西宮支部総会　七月五日(水)午後六時　西宮市民会館

▽自動車関大会総会　七月七日(金)午後六時　大阪府立労働センター

▽博修士会総会　七月八日(土)午後六時　千里阪急ホテル

ミナー・公開講座、工業技術研究所公開講座他　六、一五一千円

②吹田市民教養講座他　六、五九五千円

③近郊、地方都市講演会　四、二二〇千円

(3)目録情報の蓄積と利用者検索システムの充実

(4)図書受入、目録作成業務の機械化システム開発の推進

(5)図書館サービス広報活動の推進

3、学生福利厚生活動の重点項目

〈大　学〉

(1)関西大学奨学貸付金　一六四、五五〇千円

(2)入学時貸与奨学金　四三、三一五千円

(3)家計急変者に対する応急貸与奨学金　三、八〇〇千円

(4)短期貸付金一、五〇〇千円

(5)学生教育研究災害傷害保険加入(継続)　一一、三八二千円

4、創立一〇〇周年記念事業の重点項目

(1)記念事業実施の推進

ア　一〇〇周年記念会館の建設(継続)

イ　「関西大学百年史通史編下」の刊行(継続)　一二、〇〇〇千円

ウ　「関西大学百年史資料編」の刊行一五、〇〇〇千円

エ　日・印共同学術調査「調査報告書」の作成　一、一六、〇〇〇千円(建物)

第四学舎実験実習場増改築(総額一三億八千万円のうち)　五〇〇、〇〇〇千円

第二部学生福利厚生施設設計調査費　二〇、〇〇〇千円

高校施設整備調査費　一、〇〇〇千円

中学校施設整備調査費　一、〇〇〇千円

5、教育研究施設設備整備充実の重点項目

(1)建物

一〇〇周年記念会館建設(継続)　一、六五〇、〇〇〇千円

渡り廊下風雨防止設備設置　一〇、五〇〇千円

高校集会室改造　一一、三九〇千円

(2)構築物

千里山構内下水管整備(第一期分)　一九〇、〇〇〇千円

特別高圧受電設備増設　三一、九〇〇千円

第一水源さく井　三七、六六〇千円

受水槽増設(第四学舎研究棟)　四四、〇〇〇千円

第一・第三水源～第二水源バイパス管敷設　二〇、〇〇〇千円

高・中・関大会館地区下水管整備(第二期)　八〇、〇〇〇千円

関大会館・教育会館送り高圧ケーブル敷設　一八、五〇〇千円

(3)建設仮勘定

(土地)

高機校地造成工事(継続)　(公共下水・道路の分担金含む)　二、一六、〇〇〇千円(建物)

第四学舎実験実習場増改築(総額一三億八千万円のうち)　五〇〇、〇〇〇千円

第二部学生福利厚生施設設計調査費　二〇、〇〇〇千円

高校施設整備調査費　一、〇〇〇千円

中学校施設整備調査費　一、〇〇〇千円

算の雲

ゴールデンウイーク、五月晴れに恵まれた。子供連れの帰省、行楽で主要幹線道路はマイカーによる連休ラッシュ地方博、行楽地は家族連れの人の波となり消費税どこふくのあり様▼総務庁の子供人口調査によると子ども人口は二、三六〇万人、総人口の一九・二%を占めるそうだ。戦前と比較して戦後はほぼ一貫して低下している。英才教育をめざしてか出生率の最下位は大都市東京である。ちなみに第一位は沖縄県▼むかし田舎の村でも町にでもガキ大将がいた。輩下を連れて一つのグループを育していた。この大将、ワルでもグループを統率し輩下の面倒をみた。いじめっ子にはときには鉄拳をふるった。子供の世界のルールを教えた。しかしやさしき親たちはガキ大将を死語とさせた▼厚生省の「子どもと家族に関する実態調査」によれば家庭の七割が核家族、しかも半数が共働き。近所づき合いには消極的で子育ては自信が持てないという平成元年の家庭像を浮き彫りさせてくれた。家庭のあり方は従来の「子ども中心型」が半数と示した▼子育ては自信がないニューファミリーには考えねばならない。子育ては親による社会的責務なのだ。やさしき親たちはマイカーで子どもをとじこめ、施設の行楽地、レストランに子どもをあてがう。行動が心の触れ合いと思うのであろう。これでは子供たちの自主性が育つのであろうか。家族連れの行事は親にすれば難行苦行そのもの、子どもにとっては学校での自慢話を増長させるのみでなかろうか。▼わが子に限って…と相手だけを非難するダメな母親たち。子どもの人権は深く静かにおかされているといって過言ではあるまい。

71年の歴史に支えられたハンドメイド紳士服の最高峰
Kitahama
KATANO
1918
株式会社 カタノ
〒541 大阪市中央区北浜2丁目1番21号
北浜カタノビル1F
☎(06)231-0565～7
近鉄百貨店紳士服特選お誂えコーナー
上本町店・枚方店・奈良店・橿原店

PHP BUSINESS LIBRARY
ビジネスマン基本常識シリーズ
特許〔実用新案 意匠・商標〕のすべてがわかる本
出願のしかたからトラブル解決まで
辻本一義
●特許は日常生活にどのようにかかわっているのか
●どうすれば特許がとれるのか
●特許と実用新案はどこが違うのか
●特許をとるとどんな利点があるのか
●特許のトラブルはどう解決すればよいか
●意匠と商標はどこが違うのか
●特許の手数料はいくらぐらいかかるのか
(本書の主な内容)
PHP研究所
●定価720円
■書店にない場合、お急ぎの場合は、定価に送料をそえて辻本特許事務所へお申し込みください。
辻本特許事務所：〒542 大阪市中央区東平2-5-7 東カイ興産ビル8階 TEL06(763)4831

内外国特許・商標・出願全般
特許侵害事件
鈴木国際特許事務所
所長・弁理士　鈴木武夫
弁理士　鮫島武信
大阪市西区北堀江一丁目七番三号 大花興産ビル2F・3F
(四ツ橋交差点西角 地下鉄四ツ橋線四ツ橋駅中央西出口隣)
電話　大阪〇六(五二一)七四三一(代)
国際テレックス　〇五二五—五〇五TSIPOL
ファックス　〇六(五二一)七四三五

あなたの生活に、シャレード・ソシアルはいい。
新・快適サイズ・セダン
快適なカーライフには、生活にバランスよくフィットし、さりげなく使いこなせるクルマこそふさわしい。
この新しい主張から生まれた4ドアセダン、シャレード・ソシアル。
合理的なサイズの中に実現した、広々とした居住空間とゆとりある容量のトランクスペース。
いま、のびやかに誕生。
Photo：SX(アルミホイールはオプション)
シャレード・ソシアル誕生
大阪ダイハツ
〈本社〉大阪市福島区福島1—4—26
TEL(06)458—5631

就職あっせん
決断するは今！転職・就職の好機。
多数の企業があなたを求めています
●各職種求人多数あり
事務系　貿易・営業・企画・開発・総務・労務・経理・コンピュータなど
技術系　電子・電気・化学・機械・土木・建築・生産・設計・SEなど
●ご登録・ご相談の秘密は絶対厳守します
●費用は一切不要です
●35歳位までが有利ですが、40～50歳台の求人もあります。
★まずお電話ください。(歴送・ご来社も可)詳細お打ち合わせします。
求人も常時受け付けております。
タナベ エリート・バンク　年中受付(平日19時迄 日祝土17時迄)
労働大臣許可 経営管理者・科学技術者紹介所No.27・コサ・4
〒564 大阪・吹田市江の木町17-10(タナベ経営ビル)
☎06(338)3451

早くも各地から反響

岩崎先生生誕100周年行事に

母校の政治学科出身者で組織する関西大学政治学会（会長・篠原昭三校友会副会長）は三月に開いた総会で、故岩崎卯一学長の生誕一〇〇周年が二年後の平成三年十一月十日に当たるので、大学・校友会などに呼びかけて、盛大な催しができるように運動することを決め、準備に入ったが、校友からも「式典にはぜひ出席したい」などという連絡が寄せられており、早くも反響が起きている。

関大野球部全盛時代の昭和八年、ハワイ遠征にマネジャーとして参加、阪神タイガース創設に参画した中川政人氏（8専1法）からは「岩崎卯一先生の生誕一〇〇周年記念事業が二年後に行われるとのこと、それには是非参列したいと思います。岩崎先生は、小生が野球部マネジャーに任命されたときの大恩師であり、今後の連絡をお願い申しあげます」という便りが届いた。

このほか数人の校友からも電話などで問い合わせがきており、関係者は「やはり岩崎先生のご人徳…」と喜んでいる。

今秋創立30周年の式典

八尾市部が総会で実行委

八尾支部（奥村信夫支部長）平成元年度総会が四月二十三日午後四時より八尾西武百貨店バンケットルームで宝田校友会組織部長、藤本事務局次長、天六同友会神戸副会長、同下垣幹事長及び近隣各支部の来賓を迎え、約五十人の会員が出席して盛大に行われた。

第一部総会では事業報告、会計報告が行われ、特に本年度は支部創立三十周年に当るため、十一月十二日、八尾文化会館で記念式典を予定しており、実行委員長は副支部長の加納靖夫氏が選出され、三十周年記念事業へ向けての会員全員の協力要請が行われた。

第二部懇親会ではカラオケ等を歌いなごやかに親睦を深め午後七時に散会した。

〝人の親和〟で組織を活性化

泉佐野支部第3回総会

泉佐野支部の第三回総会が四月二十九日午後三時から、御道筋のシーフードレストラン「インディアンサマー」で坂本校友会組織部副部長、金田事務局長を来賓に迎え、松浪啓一支部長ほか十一人が参加して開催された。

泉佐野市在住の校友は判明しているだけで五百七十一人、うち支部入会者は八十七人。昨年一月二十四日の再設立総会以降、役員会は回を重ね、支部の組織の充実に時間をかけたが、昨年度は八月の夏休みに市の末広公園で家族のつどい〝夏のタベ〟を開催した。家族にも参加を呼びかけたところ、八十七人、三十七家族が夕日の輝く公園に集まって盛大に千里ケ丘の集いを開催した。以降、親睦会を実施、十月十四日のゴルフコンペには十四人が参加、泉佐野カントリーで終日ゴルフを楽しんだ。

設立間もない支部であるが、各種の行事が親睦を深めるきっかけとなっており、本年度も継続して会員の募集と行事を決定し、〝人の親和〟を支部のぬくもりとして育てていく。

十二会本年度総会

昭和十二年学部卒業生で組織する十二会の二十一人は、平成元年初めての会合を四月二十五日、梅田新道の「アサヒビヤハウス」で開いた。会は三十年の歴史を重ね、出席の中には金婚式をおえ、なお元気なものが二人あり、会の前途は洋々たるものと感じた。

ただ欠席のうち十数人が闘病で日夜努力をしているとの報告を受け、一日も早い回復を祈り会を閉じた。

（幹事代表、繁益正二）

50人が出席して盛大に総会

姫路支部

校友会姫路支部は四月十四日午後五時半から、市内の松本店で大学から大橋教学部長、校友会本部から坂本組織部副部長、金田事務局長、近隣の神戸、東播両支部代表の来賓を迎え、五十人が出席して盛大に開かれた。

第一部は神堀忍文学部教授の「人麿呂の旅」と題する講演をきき、第二部総会で支部長あいさつ、来賓祝辞があり、事業、会計報告を承認した。

第三部の懇親会では母校の昔話や地域での交流に和気あいあいの雰囲気に包まれた。

（田中幸雄記）

26人がゴルフ満喫

予科有終会コンペ

予科有終会の第十一回ゴルフコンペが五月九日、絶好のゴルフ日和のもと「ライオンズC・C」で行われた。四月二十九日から始まったゴールデンウィーク明けにかかわらず二十六人という多くの仲間が集い、楽しいゴルフを満喫した。

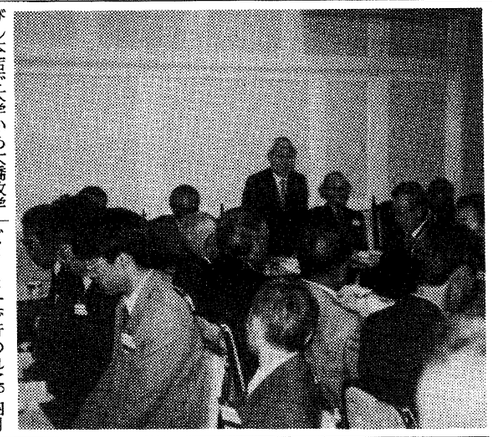
主な成績は次の通り。

優勝　平山勝一
二位　石井和雄
三位　池永　猛
四位　竹田進
五位　伊東一郎

なお懇親会は、三宅庸之君（ライオンズC・C副支配人）の特別の配慮で豪華な料理と飲物（飲み放題）が用意され、ゴルフ談議から予科時代の想い出話に移り、お前、おれの学生時代にかえって賑やかに団らんがくり広げられた。

楽しい話は尽きることが無かったが、次回の開催を今年十一月七日（火）ライオンズC・Cで行うことを決めて解散した。

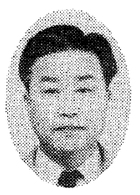
（三木憲之記）



天皇、皇后両陛下に拝謁

上田名誉教授が郵政大臣表彰

三月末に健康上の理由で退職した上田昭三名誉教授は、長年にわたる庶民金融の研究が郵便貯金の発展に多大に貢献したとして、去る四月二十日の通信記念日に東京の帝国ホテルで郵政大臣の表彰を受け、その後同夫人や他の被表彰者と共に皇居に参内、長和殿春秋の間で天皇、皇后両陛下に拝謁、ねぎらいのお言葉を賜った。同名誉教授は去る二月の昭和天皇のご大葬にも招かれた。



団体、個人とも備後支部

第2回ゴルフ関関戦で優勝

四月十五日、尾道うずしおカントリークラブで、校友会備後支部（長谷川裕支部長）と、関西学院同窓会広島県東部支部の第二回ゴルフ関関戦が行われ団体戦で備後支部が優勝した。また個人戦でも、佐藤玄氏（40学1商）がアウト42イン51のスコアで、勝利をものにした。

今回は、校友会本部から宝田組織部長、関学同窓会本部より中村泰男氏の来賓参加もあり、三十一人で陽春の一日を母校の名誉のため、お互い和気あいあいで、楽しい一日を過ごした。

（追記）

いつも視野広く大所高所から達観する高邁な理論が多いのですが、今回の大著は特にその観があり圧倒されます。もちろん、あちこち拾い読みの程度ですが、いろいろ知らない固有名詞も多く、目くるめき思いがしました。

第一回は松永カントリークラブで、昨年十月十五日行われ、団体、個人戦とも関学が、優勝した。

次回は、十一月頃に第三回を開催の予定である。備後地区在住の校友諸氏の一人でも多くの参加を望んでいる。

（代表幹事　菊田晴中記）

スプリングフェスティバルに集う

千法会が現役学生と語らう

四月九日に開催されたスプリングフェスティバル当日、千里山法律学会のOB、OG色々の職種の者十人と現役の学生約十五人が法文学舎一階の教室で楽しく語りあった。桜のフェスティバルを利用して初めて学生とヒザをまじえ親睦をはかるとともに、学生諸君より卒業後の就職や国家試験問題、また社会にでた時の心がまえなど、卒業生が相談を受けた。

当日はOBとして桜田誉教授も参加していただき、千法会業生の活躍状況を話され励まされた。最近、学生とOB、OGとの関係が社会的に自己意識の強い者が多い関係から疎遠になっているが、千法会のように法曹界など多数輩出しているクラブ（卒業後陸法会という）としては、今後学生と親密に連絡をとりたい。

（高橋一夫記）

家族づれで30人

射撃部OB会総会

スプリングフェスティバルの四月九日、射撃部OB会は午前十時よりの現役部員の公開練習開始時には、すでに何人かのOBが集まり、総会開会定刻十二時にはご家族連れで約三十人が集り、OB会長の開会のあいさつに続いて、会計報告、会務報告、平成元年度事業計画を次々承認決議されました。

特に平成元年のスタートに当たり、八十原武之助氏（昭和九年卒）より何としても「全日本制覇を」と強いお言葉があり「OB会として全力を挙げて支援すること」を決議。総会を終了し、全員で弁当に舌鼓を打ち、来年もこの日に総会を開催することを約束して散会した。

（射撃部OB会々長　田中和夫）

雄大な海岸美　緑豊かな山々
山陰の旅情＼香住海岸
新鮮な海・山の幸を料理！　懇親旅行、ゼミ旅行などお気軽にご利用下さい（海水浴の予約受付中／早目にどうぞ）
◆豊富な海の幸荒磯料理
◆高級和牛のふるさと但馬牛料理
◆冬の味覚 かに料理（11月初〜3月下旬）
その他ご予算に応じて料理致します。
山陰海岸国立公園（運輸省国際観光民宿）
海辺の宿 はまかぜ荘
香住生まれのOBが経営しております
ご予約・お問い合わせはお気軽にどうぞ
TEL 07963-6-0773（香住駅から車で4分）
〒669-65 兵庫県城崎郡香住町下浜

昨年の吹田市民大学

なにわ歓閑楽学誌

おおさか文化セミナー

おおさか文化セミナー「なにわ歓閑楽学誌」＝関西大学、大阪府立文化情報センター共催＝が次のように開催される。

◇日時　五月三十〜六月二十七日午後六時半〜同八時半まで。

◇会場　大阪府立文化情報センター（住友中之島ビル五階）

◇申込方法　往復はがきで（住所、氏名、年齢、電話番号記入）〒＝大阪市北区中之島三丁目、大阪府立文化情報センター＝へ。定員になり次第締切（先着順）

▽天折者の悲哀＝梶井基次郎のことども＝　法学部助教授　山野博史　五月三十日

▽物の不自由な中で＝昭和二十年代の大阪書物文化＝　文学部教授　肥田皓三　六月六日

▽日本の海大阪の海＝海（海岸）にまつわるよもやまばなし＝　社会学部助教授　乾　裕幸　六月二十日

▽軽口の西鶴　文学部教授　井上雅夫　六月十三日

▽京・大阪の風俗画　文学部教授　真田君美　現代社会と人間関係　六月二十七日

▽シルクロードの自然　文学部教授　末尾　至行　七月十五日

▽シルクロードの食　国立民族学博物館助教授　周　達生　七月二十二日

▽シルクロードと日本　文学部教授　薗田　香融　七月二十九日

▽史跡見学会＝平城京遺跡とその発掘＝　奈良国立文化財研究所、平城京跡発掘調査部長　町田章　未定

産業セミナーと公開講座

平成元年度の日程と講師

関西大学経済・政治研究所主催の平成元年度産業セミナー、公開講座が、次の通り決まった。産業セミナーは、阪急グランドビル26階会議室」で、午後一時半から四時半まで。聴講無料、申し込みは関西大学経済・政治研究所（〒584吹田市山手町三＝三＝三五）へ、氏名・勤務先（その住所）電話番号記入の上、はがきで。先着百四十人限り。

受け付けた方には入場整理券を送る。

また公開講座は「千里山第2学舎1号館A205教室」で、午後一時から三時半まで。聴講無料、受付は当日会場で行う。

◇産業セミナー

▽六月五日　法学部教授　真鍋俊二　国際化と人的移動＝二十一世紀大阪への変貌の中で＝

▽六月十二日　商学部助教授　廣岩佐市　エレクトロニック・バンキング＝その現状と動向

▽六月十四日　文学部教授　G・S、ジョンソン　明治・大正時代における上方洋画家の出版物

▽六月十九日　商学部助教授　山岡泰造　六月二十七日

▽七月十日　工学部教授　和田　安彦　ウォーターフロントと都市アメニティづくり

▽七月十一日　法学部教授　藤田久一　国際紛争とその解決方法

▽十一月八日　経済学部教授　山本繁緯　地域経済活性化の課題

▽十二月十三日　商学部教授　岡部孝好　情報ネットワーク化と財務公開制度の課題

▽六月十五日　社会のゆとりについて数学で考える　社会学部助教授　高瀬武典

▽六月二十二日　時間短縮・週休二日制と仕事のゆとり＝外国とくらべて＝　社会学部教授　川野廣

▽六月二十九日　家族のゆとり　社会学部教授　前田卓

▽七月六日　心のゆとり　社会学部教授　広田君美

3コース「今、法と政治に何が問われているのか」（午前十時二十分〜午後零時十分）

▽六月九日　フランス革命200年＝自由・平等・友愛＝　法学部教授　原英次

▽六月十六日　戸籍のはなし＝日本の家族と国家＝　法学部教授　市川謙敏

▽六月二十三日　パートタイマーの法的保護　法学部助教授　大沼邦博

▽六月三十日　国際紛争の平和的解決　法学部教授　藤田久一

▽七月七日　消費税のはなし　法学部教授　村井正

4コース「豊かさの追求＝ヒト・モノ・カネ＝」（午後一時二十分〜午後三時十分）

▽七月九日　豊かな老後のために＝高齢化社会の社会保障＝　経済学部教授　一圓光弥

▽六月十六日　人間・労働・サービス　経済学部教授　佐藤真人

▽六月二十三日　融業化時代の企業行動　経済学部教授　安藤彦博

▽六月三十日　大量国債発行の国民負担軽減　商学部助教授　池島正興

▽七月七日　豊かな消費生活のパラドックス　商学部助教授　陶山計介

▽七月十四日　情報長者と情報貧者　商学部教授　岡部孝好

吹田市民大学

3コースで開講

▽関西大学・吹田市教育委員会共催

▽場所　吹田市立千里市民センター3階大ホール（阪急南千里駅下車すぐ）

▽受講資格・定員　一般成人。各コース二百人、受講料無料

▽申し込み方法　往復はがきに住所、氏名（返信用にもあて先を）、年齢、電話番号、希望コース番号を書いて吹田市中央公民館（〒584吹田市出口町4＝1市民会館内、電話3887＝2088）へ。一人で全コース申し込めるが、一枚のはがきに1コース一人分だけ記入のこと。各コース次の通り。

1コース「教育改革」と学習社会（午前十時二十分〜午後零時十分）

▽六月八日　教育改革と生涯学習を考える　文学部教授　岡村達雄

▽六月十五日　歴史のなかの教育改革　文学部教授　本山幸彦

▽六月二十二日　教育改革と子ども・親・教師　文学部教授　小川正

▽六月二十九日「学習社会」は子どもを救えるか　文学部教授　玉田勝郎

▽七月六日　教育改革＝なにを・どう変えるべきか　文学部教授　石島裕之

2コース「ゆとり社会を考える」（午後一時二十分〜午後三時十分）

▽六月八日　ゆとり社会とは？　社会学部教授　野崎治男

▽六月十五日　社会のゆとりについて数学で考える　社会学部助教授　高瀬武典

▽六月二十二日　時間短縮・週休二日制と仕事のゆとり＝外国とくらべて＝　社会学部教授　川野廣

▽六月二十九日　家族のゆとり　社会学部教授　前田卓

▽七月六日　心のゆとり　社会学部教授　広田君美

3コース「今、法と政治に何が問われているのか」（午前十時二十分〜午後零時十分）

▽六月九日　フランス革命200年＝自由・平等・友愛＝　法学部教授　原英次

▽六月十六日　戸籍のはなし＝日本の家族と国家＝　法学部教授　市川謙敏

▽六月二十三日　パートタイマーの法的保護　法学部助教授　大沼邦博

▽六月三十日　国際紛争の平和的解決　法学部教授　藤田久一

▽七月七日　消費税のはなし　法学部教授　村井正

4コース「豊かさの追求＝ヒト・モノ・カネ＝」（午後一時二十分〜午後三時十分）

▽七月九日　豊かな老後のために＝高齢化社会の社会保障＝　経済学部教授　一圓光弥

▽六月十六日　人間・労働・サービス　経済学部教授　佐藤真人

▽六月二十三日　融業化時代の企業行動　経済学部教授　安藤彦博

▽六月三十日　大量国債発行の国民負担軽減　商学部助教授　池島正興

▽七月七日　豊かな消費生活のパラドックス　商学部助教授　陶山計介

▽七月十四日　情報長者と情報貧者　商学部教授　岡部孝好

守口市民大学講座

▽共催　関西大学　守口市教育委員会　NHK大阪放送局

▽会場　守口市立中央公民館五階ホール

▽時間　午後二時＜午後四時

▽受講資格　一般成人

▽定員　百二十名

▽申込方法　五月十六日から守口市立中央公民館（991＝0318）へ電話で。

▽シルクロードと東西文明の交流　文学部教授　藤善　真澄　七月一日

▽シルクロードと仏教　文学部教授　藤本　勝次　七月八日

▽シルクロードの宗教　文学部教授　末尾　至行　七月十五日

▽シルクロードの食　国立民族学博物館助教授　周　達生　七月二十二日

▽シルクロードと日本　文学部教授　薗田　香融　七月二十九日

▽史跡見学会＝平城京遺跡とその発掘＝　奈良国立文化財研究所、平城京跡発掘調査部長　町田章　未定

大阪狭山市成人大学

▽共催　関西大学　大阪狭山市教育委員会

▽会場　大阪狭山市立公民館

▽時間　午後二時＜午後四時

▽受講資格　大阪狭山市内在住・在勤・在学の成人

▽定員　百名

▽申込方法　直接公民館か、または往復はがきに「成人大学講座」と住所、氏名、電話番号、年齢を明記し、「大阪狭山市今熊一＝一〇六、市立公民館」まで送付。電話での受付はしません。申込多数の場合は抽選。詳しくは、市立公民館（TEL六六＝一〇〇七〇）まで。

大陸文化と日本

▽古代中国と日本列島　文学部教授　大庭　脩　六月三日

▽藤ノ木古墳　文学部教授　有坂隆道　六月十日

▽祇園精舎と日本　文学部教授　網干善教　六月十七日

▽隋・唐帝国と日本　文学部教授　藤善真澄　六月二十四日

▽中国古典と万葉集　文学部教授　木下正俊　七月一日

▽最澄と空海　文学部教授　薗田香融　七月八日

▽足跡見学会＝平城京遺跡とその発掘＝　奈良国立文化財研究所、平城京跡発掘調査部長　町田　章　七月二十二日

人事動静

◇徳島市の宮崎昌泰氏（23学1法、同氏理事）は四月一日付で収入役に就任。

◇関西ペイント、田中益夫氏（23大予、副社長）は六月二十九日、社長に就任する。

◇大阪経済法科大学人事

▽総合科学研究所長　村川行弘氏（20大予）

▽法学部長　福本憲男氏（29学1法、32院修私）

▽学生部長　沢勲氏（37学工電、39院修電42院博電）

▽入試広報部長、学長補佐　東条武治氏（41学2法、43院修公）

◇大阪府教育委員会事務局社会教育課指導主事兼社会教育主事に岸田典久氏（41法、校友会代議員）が就任。

新刊紹介

正木明著　文学的存在論

紀伊國屋書店（梅田店）　四、八〇〇円

存在と論理の問題は人類永遠の課題であるがゆえに、学問の各分野がそれぞれに力を発揮して総合的人間の形成に与かり、創造的な進化のために努めるべきである。

本書での試みは、正にその主旨に適った労作であって、文学研究の方法論的視野の拡大といい、また刻々に変奏されて行く人間生活のリズムに則った「文学的な存在論」考といえよう。「絶望よりも希望に敏感でありたい」と望む著者の魂には、深い命に傾聴する誠実さと鋭い分析とが随所にみられ、同時にまた断片にのみ囚われないホリスティックな見地からする文学活動の見直しは、如何に自己のプログラムの破綻を回避すべきかの課題を担う読者の認識を新たにする筆力が加わっている。

本書は六章、十九項目から成り立ち、一四六の注釈が付け加えられている。

すなわち第一章の文学の本質的な検討から、第二章の文学様式の展開に続き、第三章ではルネッサンス以降のヨーロッパ文化の危機的性格を分析しつつ十九世紀的価値大系を見直して、二十世紀に至る新たな創造的価値との調整を図る。第四章では別の面から詩歌や散文並びに戯曲にスポットを当てて、喜劇的精神の原点にまで視野を広げた。第五章では文芸創造のエネルギーを二元的な対立論とモアレ的文学論考を通して解説しつつ、マルチレベルに進化する精神の領域拡大理論から、文学の内的理解の手順を説く。最後の第六章では二十一世紀への課題を柱に、内なる外の眼を持つラフカディオハーンの再考と、科学的人間主義の軌跡をオールダス・ハックスレーに振り返り、多重的な視野拡大に資すべく大脳生理などの科学的類推も付け加えられている。

著者は現在芦屋大学大学院の指導教授としてご活躍の傍ら、本学並びに大阪大学にも出講され、同時に博修士会の副会長として母校の発展と後輩の指導育成にも尽力されている。

（追記）

いつも視野広く大所高所から達観する高邁な理論が多いのですが、今回の大著は特にその観があり圧倒されます。もちろん、あちこち拾い読みの程度ですが、いろいろ知らない固有名詞も多く、目くるめき思いがしました。

『毒物劇物取扱責任者試験―試験問題の解説・解答』

沢勲著　弘文社・刊　二、五〇〇円

化学技術の発展に伴って、殺菌剤としてAF＝2が発明された。しかし、強力な毒性のために、我々の日常生活において使用が禁止されてから約十年が経過した。現在、次亜塩素酸及びナトリウム尖は容器の殺菌に限り、使用が認められている。また、食品に添加が許可されているものは、過酸化水素水のみでありかまぼこ、ちくわ、はんぺんなどの魚肉ねり製品や、ゆで麺などの殺菌、漂白を目的とした使用が認められている。

過酸化水素水は、過酸化水素35＝36％を含有し、酸化・還元の両作用があり、アルカリ・熱・光などにより、水と酸素に分解される。また、種々の有機・無機化合物と付加物を作る。

この過酸化水素は、食品に添加しても加工・調理の際に、水と酸素に分解され消失するものと考えられてきた。しかし近年、小川・室橋等は、麺類では過酸化水素が約三か月後においても五〇〇ppmがら三四七〇ppm含有していたと報告している。

このように、様々な薬品が穀物、野菜、果実等の殺菌・殺虫剤として使用され、我々の食卓にのぼっている。

これらの、薬品が日常生活においてどのように使用されているかが第四章に述べられており、さらに第七章では毒物・劇物の分類が表に簡潔にまとめられている。第八章では農業用毒物・劇物の分類と、それらの使用を誤って事故になったときの処置等にも触れているので、資格取得を目指す方は勿論のこと、一般の方々も一読されたい。

一点だけ気になったことは、第六章の「化学の基礎知識」は、文字通り〝基礎〟であるので、第二章で述べたほうが、読者にとってより解り易くなるのではないだろうか。

（工学部助教授　安藤　暹）

沢氏＝42院博電、大阪経済法科大学教授

国文学科同窓会

◇日時　六月二十五日（日）午後三時半〜六時半　※午後三時までにご来場ください。

◇場所　太閤園　三階　ダイヤモンドホール（JR「京橋」、京阪「京橋」、地下鉄「天満橋」下車）

◇会費　八〇〇〇円

◇内容　講演（谷沢永一教授）・総会・懇親会

※準備の都合上、六月十日までに出欠席のお返事をお願いします。なお、詳細は関西大学国文学研究室（電話〈〇六〉三八八＝一一二一内線五〇二二）にお問い合わせください。

関西大学国文学科

人事動静

◇共催　関西大学　大阪狭山市教育委員会

◇会場　大阪狭山市立公民館

◇時間　午後二時＜午後四時

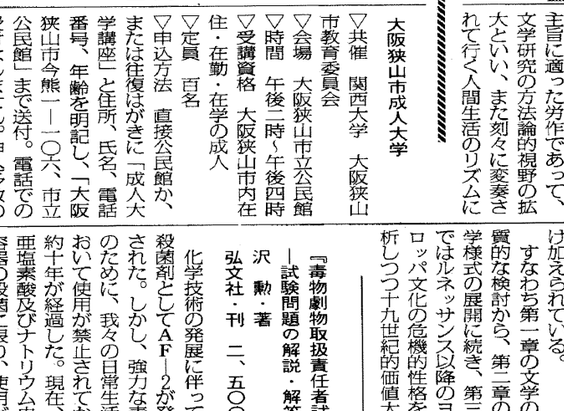
◇受講資格　大阪狭山市内在住・在勤・在学の成人

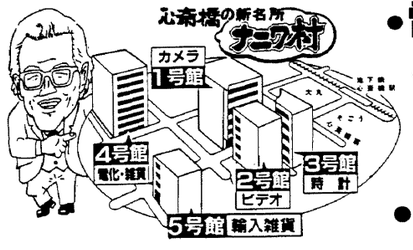
◇定員　百名

◇申込方法　直接公民館か、または往復はがきに「成人大学講座」と住所、氏名、電話番号、年齢を明記し、「大阪狭山市今熊一＝一〇六、市立公民館」まで送付。電話での受付はしません。申込多数の場合は抽選。詳しくは、市立公民館（TEL六六＝一〇〇七〇）まで。

おそばのおいしいお店、家族亭へお立ち寄り下さいませ
信州そば 家族亭
関西店　阪急三番街/ウメダ地下街/阪急32番街/ナビオ阪急/難波戎橋筋/ミナミ地下街/南OSプラザ/地下鉄住之江終点/江坂東急ビル/府道茨木警察北/点機松坂屋/阪急川西能勢口駅前/国道171号西宮門戸阪機西/阪急三宮駅西口/神戸ポートアイランド/堺高島屋/D.Dハウス/阪急池田駅2F/守口京阪百貨店/角田町（ナビオ東）/新神戸店
東京店　有楽町/渋谷/蒲田/池袋/新宿/荻窪/大森/北千住/八王子/川崎/日比谷
横浜店　ヨコハマルミネ
津田沼店　イトーヨーカドー
札幌店　丸井今井本店
浦和店　伊勢丹
新潟店　伊勢丹
浜松店　松菱
浜松メイワン店

てっちり ●くじら鍋 ●くえ料理
徳家
千日前・相合橋筋商店街　★年中無休（但し、8月は全休）
〒542　大阪市中央区千日前1丁目8番2号
TEL.（06）211-4448


（PHOTO 桧谷OUT 1番ホール）
18ホール（6,726ヤード）パー72
交通
●名神高速道路瀬田西I.Cからクルマで25分（約20km）●名阪道路伊賀一の宮I.Cからクルマで35分（約25km）●国道307号線・枚方より約75分、国道163号線・木津より約50分
日本国際連合協会滋賀県本部指定ゴルフ場
オレンジシガカントリークラブ
コース整備も着々進行
＝充実した春を迎えました＝
'84年11月オープン以来、5年目の春を迎え、コース状態も抜群。雄大な信楽の自然に広がる気品のあるコースとして、着実に名門の道を歩みつづける
オレンジシガカントリークラブは、
プレイや憩いに、質の高いゆとりを育てています。
日頃のご支援に感謝を込めて―校友の皆様に特典
●平日に限り優待料金でプレーできます。
●直接エントリーをお受けします。
氏名、卒業年・学部をお知らせ下さい。
●お申込み・お問合わせは、コース（0748-83-0111）まで。
関西スポーツランド株式会社
■コース　滋賀県甲賀郡信楽町宮町字惣谷1000番　☎0748（83）0111（代）
■本社　滋賀県野洲郡野洲町小篠原2229―17　☎0775（87）5766

選らべる安さ最優先！
・カメラ・ビデオ・パソコン
・ワープロ
・電化品
・時計
・輸入品


世界に誇るカメラのマンモス専門店
カメラのデパート ナニワ
心斎橋 ナニワ村
梅田 大阪駅前第3ビル・B1
〈本店〉心斎橋大丸・そごう間・東へ50歩
カメラ 281-4111　ビデオ 281-4121　時計 281-4131
●日本橋店／なんば・なんさん通り東詰　TEL（06）646―0728
●梅田店／大阪駅前第3ビルB1　TEL（06）345―0720
●堂島店／ドージマ地下センター　TEL（06）344―5921
●千里中央店／千里中央サンタウン2F　TEL（06）831―2569
●空港店／大阪国際空港ビル名店街　TEL（06）856―7447
●本町店／大阪御堂筋本町東へ50歩　TEL（06）271―0728
●毎日店／堂島毎日会館南館1F　TEL（06）345―9605
（プロショップ ナニワ）　（他35店）

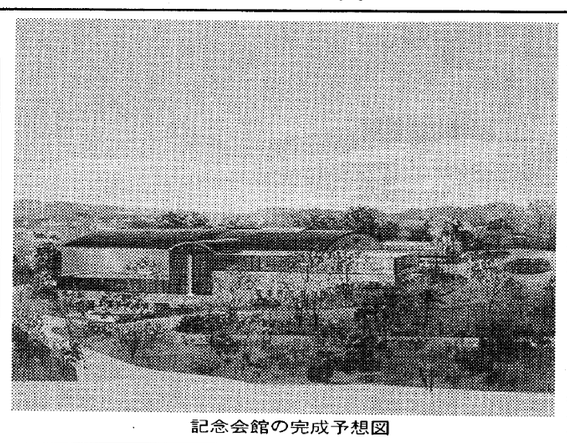
校友待望の記念会館 10月にオープン

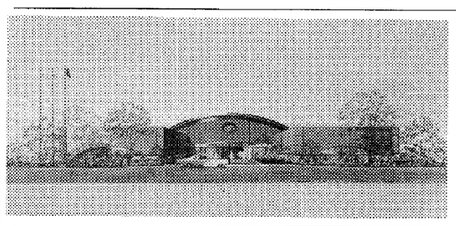
関西大学創立一〇〇周年記念事業の一つ、校友待望の記念会館が十月に完成する。

この会館は、大学における学術研究の成果を発表し、それを社会に還元するための教育・文化的事業を恒常的に実施する学術文化センターとしての機能を備え、国際交流や研究発表の場としての機能を併せもっている。多目的ホールや会議室は校友会の種々の会議、会合にも使用できる建物として、総額二十二億円の予算。

建物は鉄骨鉄筋コンクリート造、地上三階建、建築面積二、九八三平方㍍(九〇二坪)、延面積五八八四平方㍍(一、七八〇坪)＝会館四四八四平方㍍(一、三五七坪)プール一、三九五平方㍍(四二二坪)。概要は▽一階　二五㍍温水プール▽二階　約八百人収容可能の多目的ホール(三階吹き抜け)約百人収容可能な会議室のほか会議室六室、和室一室▽三階　応接室、レストランなどとなっている。

入口は、関大会館側の三階部分(地形の関係から)に入口が設けられ、プールへは、第二中学校グラウンド側に専用の入口が設置される。ホール・会議室部分とプール部分との機能を構造上分離させ、地形の高低差を利用した設計上の工夫がされている。


記念会館の完成予想図



記念事業の実施概況

(関西大学創立一〇〇周年記念事業寄付者芳名録より)

1、「一〇〇周年記念会館」の建設(別項で説明)　二二億円

当初この会館に併設を計画していた国際学術交流協定校等からの外国人研究者の利用に供する宿泊施設は、別途に確保することとなり、寄付金のうちから二億円を「国際交流宿泊施設運営基金」に充当します。

2、セミナー・ハウスの建設　四億五千万円

学生の豊かな人間形成を導く場として、セミナー・ハウスを建設します。建設は、用地に予定している高槻校地の造成工事が完成する平成二年十二月以降となる見込みであります。

3、研究・教育振興基金の設定　一〇億円

本学の研究・教育の高揚と質の向上に資するため、次の三種の基金を設定し、その運用果実をもってそれぞれの対象事業に助成します。

昭和六十一年九月基金設定を行い、各基金による助成規程を制定し、それに基づいて昭和六十二年度から助成を開始しています。

(1)国際交流助成基金(六億円)

学生の外国留学、外国人留学生の学習奨励、国際シンポジウム、国際学会などを対象に助成するもの。

(2)学術研究助成基金(二億円)

専任教育職員の個人研究、共同研究及び海外学術調査研究などを対象に助成するもの。

(3)教育助成基金(二億円)

研究能力が特に優れた大学院学生を対象に、給付奨学金として助成するもの。

4、日・印共同学術調査の実施　一億三千万円

(関西大学教育後援会の指定寄付による)

日本とインド両国の国際学術・文化交流を目的として、本学とインド考古調査局との共同で、インド国ウッダル・プラディシュ州シュラヴァスティにあるサヘート遺跡発掘の学術調査を実施しております。昭和六十一年十月三日両者において協定書を取り交わし、すでに昭和六十一年度に第一次調査を、六十二年度に第二次調査を終えました。

これにより出土した多くの貴重な遺構や遺物等の調査・研究から、この遺跡が「祇園精舎」跡と確信するにいたりました。そして、その成果をふまえて、さらに検証を深めるため、当初の予定を一年延長し、六十三年度に継続して第三次調査を行っています。

5、その他の記念事業・行事　二億五千万円

(1)記念式典の挙行

昭和六十一年十一月四日の創立一〇〇周年記念日に先立ち、同年十一月二日(日)、大阪城ホールにおいて「関西大学創立一〇〇周年記念式典」を挙行しました。

式典には、矢口洪一最高裁判所長官、石川忠雄日本私立大学団体連合会会長、岸昌大阪府知事並びに国際学術交流協定校・友好校の学長等の来賓を迎え、校友・教育後援会会員、教職員、学生代表等学園関係者約一万三千人が参列しました。

(2)講演会等の開催

ア、記念学術講演会

海外から下記の学者を講師に招聘し、公開の記念学術講演会を、昭和六十一年十月三十一日(金)大阪毎日ホールにおいて開催しました。

〈講師と演題〉

○ドナルド・L・キーン博士(コロンビア大学教授)

「明治の日本人は世界をどう見ていたか」

○江崎玲於奈博士(米国IBM主任研究員兼日本アイ・ビー・エム取締役)

「科学技術文明の回顧と展望」

イ、学部主催による講演会等

(ア)法学部主催の記念学術講演会が、昭和六十一年十月二十二日天六学舎、十月二十三日千里山学舎において開催しました。

(イ)商学部主催の記念シンポジウムが、昭和六十一年九月三十日と十月六日の両日、「変りゆく日本―二十一世紀への旅」を総合テーマとし、千里山学舎において開催しました。

(ウ)商学部主催の記念講演会が、十月十五日天六学舎、十一月十八日千里山学舎において開催しました。

(エ)図書館における記念行事として、大阪名家自筆稿本百種展が、昭和六十一年十月二十七日から十二月六日まで総合図書館において開催しました。同期間中、その「目録」の刊行及びこれに関する講演会が行われました。

(3)年史の刊行

「関西大学百年史通史編上」及び「関西大学百年史人物編」及び「関西大学百年のあゆみ」を昭和六十一年十一月に刊行しました。

「関西大学百年史通史編下」「関西大学百年史資料編」及び「関西大学百年史索引・年表編」は引き続き刊行の予定であります。

(4)学術論文集の刊行

各学部・学会等の編集により、創立一〇〇周年記念特輯として、論文等が刊行されました。

(5)記念映画の製作

関西大学一〇〇年の歴史並びに大学の現況を記録として残すとともに、関係者の鑑賞に供するため、記念映画の製作を計画し、昭和五十八年六月に製作を開始し、昭和六十二年四月に完成しました。

◇歴史編「関西大学―風雪の歴史」(16㍉カラー、29分)

◇現代編「燃ゆる関西大学」(16㍉カラー、43分)

(6)「内藤文庫」の設置

東洋学の泰斗、故内藤湖南、故内藤伯健の旧蔵典籍約二万冊の譲渡を受け、「内藤文庫」を設置しました。

江崎博士の記念講演

記念事業所要資金総額　四〇億三千万円
募金目標額　三七億八千万円
自己資金　二億五千万円

◇現物寄付者ご芳名(敬称略)

燈籠　一基　花台付供物台　一基　安井季道

刺繍画　一点、高句古墳壁画　写真集　一冊　園田　実

立体地勢図地球儀　コスモ342　一点　樋口雅之

シルクスクリーン手刷り版画　一点、伊豫絣の手織緞和紙　村上節太郎著　一冊　上島　哲雄

外国製インテリア地球儀　一点　野村證券株式会社

29型カラーテレビ　29C―C158　テレビ台TT―S915B付　一台、ハイファイビデオ　VC―D1B　一台、ビデオカメラ　VC―C50　VR―C50K　一台　株式会社大和銀行

絵画(余呉湖雪解)　F30号　一点　北村　洋

書籍(女人書譜)上・下巻　各一冊　駸々堂出版株式会社

第13回総合関関戦

6月23日関学キャンパスで

関西大学、関西学院大学両校のスポーツ技術の交流と親睦、そして、学生スポーツの振興を目的として始められた総合関関戦は第十二回を迎え、六月二十二日から三日間、関学のキャンパスで行われる。昨年は関大が15勝16敗5分けという僅差で敗れ、三年連続優勝はならず、通算成績は7勝4敗となっている。

マラソン大会を大島謙吉記念に

また総合関関戦の最後を飾る「健康マラソン大会」は、年々参加者が増加しているが、本年度より、関西学院大学体育会OB倶楽部のご理解を得て「大島謙吉記念・総合関関戦健康マラソン大会」と呼ばれることになり、ますます盛大になるよう期待されている。

＝マラソン大会要項＝

◇主催　関西大学体育OB会、関西学院大学体育会OB倶楽部

◇後援　関西大学校友会、関西学院大学同窓会

◇期日　六月二十四日(土)雨天決行。

◇場所　関西学院大学周辺六キロコース。

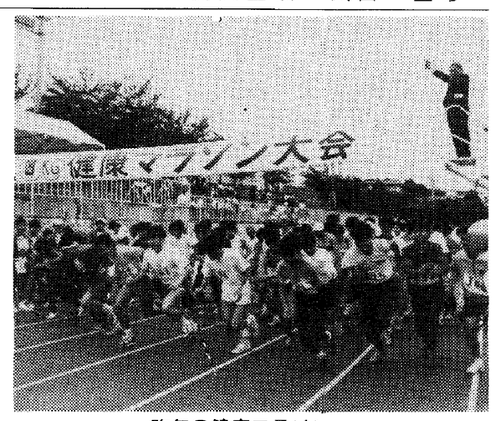
◇参加資格　関大、関学両大学生、教職員、同窓、校友、その他「実行委員会」が特に認めた者。以上に該当し、過去一年間に健康診断を受診し、異常を認めない人で、走ることに自信のある人。参加費無料。

◇定員　一、〇〇〇人。

◇参加賞　全員に「記念ゼッケン」と完走者に「完走証」を贈る。

◇申込場所　〒564吹田市山手町三―三―三五、関西大学体育課内、総合関関戦・健康マラソン大会実行委員会　電話06―三八八―一一二一(内線三一四一―三一四四)

申込用紙並びに関係書類は同実行委員会へ請求のこと。


昨年の健康マラソン

第11回総合関関戦成績表(○勝×敗△引き分け)

各競技	関大	関学	各競技	関大	関学
競技かるた	○	×	球技ソフトボール	×	○
競技ダンス	△	△	一輪車	△	△
リレーマラソン	○	×	操法	○	×
ボーリング	○	×	道場破り	○	×
ボッチャ	○	×	剣道	○	×
卓球	○	×	柔道	○	×
バドミントン	○	×	一輪車リレー	○	×
弓道	○	×	綱引き	○	×
相撲	○	×	駅伝	○	×
アーチェリー	○	×	空手道	○	×
ホッケー	○	×	合気道	○	×
軟式野球	○	×	術科	○	×
ケビ体ボール	○	×	銃剣道	○	×
手話サークル	○	×	総合	○	×
動物リレー	○	×	総合	○	×
スポーツチャンバラ	○	×	総合	○	×
棒倒し	△	△	総合	○	×
綱引き	△	△	総合	○	×
騎馬戦	○	×	総合	○	×
応援合戦	○	×	総合	○	×
総合	○	×	総合	○	×
総合	○	×	総合	○	×
総合

テクノロジーの散歩道

電力供給の巨大化

多様性と発電機の大容量化

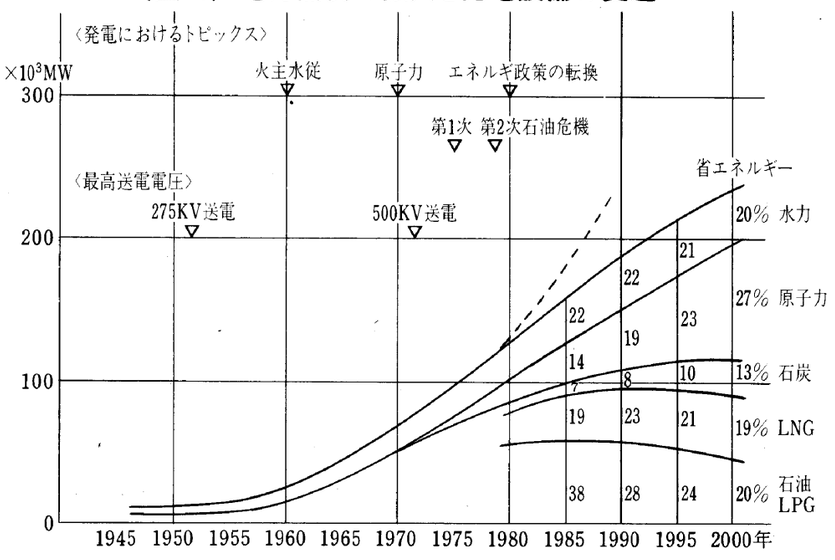
電力技術雑感
工学部電気工学科 助教授 林 重雄

エネルギーは経済活動の血液であり、高度成長期にその需要は大きく伸びてきた。産業構造の変化、省エネルギーの努力によりエネルギー総需要は鈍化しているとはいえ、電気はクリーンで安全なエネルギーとして今後も伸びつづけることが予想される。電力需要の伸びとともに、これを質・量ともに安定に供給するため、エネルギーの多様化、発電所の大容量化、送電電圧の超高圧化、制御の高度化への技術開発が今後とも必要であろう。

＝エネルギーの多様化と発電設備の変遷

電気エネルギー需要拡大の様子を発電設備の形で見てみよう。図1に示すように一九六〇年から七〇年代の高度成長期には一〇年でほぼ二倍の成長率を示している。この需要を賄うため一九六〇年代には発電の主力は水力から火力に移り、エネルギー源を石油の輸入に依存するようになった。一九七〇年代に入ると産油国の資源温存、政治の不安定等のため世界的な石油ショックが生じ、経済活動は大きな打撃を受けた。省エネルギーや原子力を中心とする石油代替エネルギーの利用のエネルギー政策の転換が進められ、この危機を乗り切ってきた。

（図-1）電力需要の拡大と発電設備の変遷



石油の代替エネルギーとしては原子力の他に石炭、天然ガス（LNG）もその比重を高めてきた。これらはすべて輸入エネルギーである。備蓄の問題を考えると、一〇〇万kWの発電所を一年間運転するのに必要な燃料は、原子力発電所で三〇t（トラック三台分）であるのに対し、石油では一三〇万t（大型タンカー七隻分）、石炭では二〇〇万t（大型専用船二二隻分）、天然ガスでは一〇〇万t（大型専用船四隻分）が必要であり、これにともなって輸送の問題、貯蔵の問題があり、また環境問題もあって、原子力発電の主力になってきた。一九八五年には年間発電量で原子力が石油を上回るようになった。

今後は環境問題とその関連も含め、原子力の比重がますます大きくなってくるものと考えられる。このとき重要なのは高速増殖炉も含め使用済燃料の再処理、放射性廃却物の処理等の原子燃料サイクルの技術の確立である。さらに将来の技術として核融合発電がある。

燃料電池を用いた熱併給システム、太陽電池等はこの原子力の大きな流れを補足しながら環境問題にも貢献しようとするものである。

＝発電所の大容量化

電力需要の増大とともに発電所単機出力は大容量化してきた。理由はいろいろある。まず、安価な電力を供給するためスケールメリットによる建設単価の低減である。次に、貴重なエネルギー資源を有効に利用するため発電効率の向上である。このためには蒸気圧力、蒸気温度を上昇する必要があり、これにともなって単機出力が大容量化してきた。火力発電では蒸気温度五六六度C、蒸気圧力二四六㎏/㎠Gを採用した超臨界圧機の効率は四一％程度になっている。蒸気温度を六〇〇度C以上とすることは、蒸気の化学的反応によって金属材料が著しく腐食するためこれがほぼ限界である。高効率発電方式としてガスタービンとボイラーを組合せたコンバインド発電では発電効率は四三％に達している。現在のところ最大容量機としては、火力発電所では鹿島五号機の一〇〇万kW、コンバインド発電所では東新潟三号機の一〇九万kW、原子力発電所では大飯一号、二号機の一一七万kWがある。

＝冷却技術が発電機大容量化のポイント

単機出力の大容量化のためには多くの技術開発を必要とするが、ここでは発電機についてみてみる。発電機の出力限界は絶縁物の温度上昇によって決まる。発電機の損失熱（電流によってコイル導体に熱が発生する）をいかに効率よく取り去るかが重要である。図2に見るように発電機の容量が増すにつれて冷却方式が空気冷却、間接水素冷却、水素内部冷却、水冷却と変わっている。これとともに単位出力当りの体積が階段的に小さくなっている。すなわち、単位体積当りの出力が大きくなっている。水素ガスは熱伝導度が空気より大きいので有効材料の単位体積当りの出力が増加し、このため水素冷却では空気冷却の場合より出力の大きい発電機を製作することができる。水素内部冷却では、図3に見るように水素は導体内部を流れ絶縁物を介することなく直接に導体と冷却している。水素よりも比熱の高い水を用いると更に冷却効果が良くなり、超大容量機の製作が可能となる。

発電機の回転子は百数十トンの巨大な鋼塊で作られており、これが三六〇〇回転毎秒（火力機）または一八〇〇回転毎秒（原子力機）という高速で回転している。この回転に耐えるのに必要な剛性（硬さ）を持たせるためには発電機の寸法に限界があり、大容量機を作るためはどうしても単位体積当りの出力を増すことが必要である。冷却技術が発電機大容量化の決め手となる。さらに大容量機を目標に損失熱を生じない超電導発電機の研究が進められている。

＝超高圧による大電力輸送

発電所は大容量化するとともに需要地点から遠隔化している。発電した大電力を長距離輸送することが必要となる。このために送電電圧が高くなってきた。現在日本における最高送電電圧は五〇〇kVである。

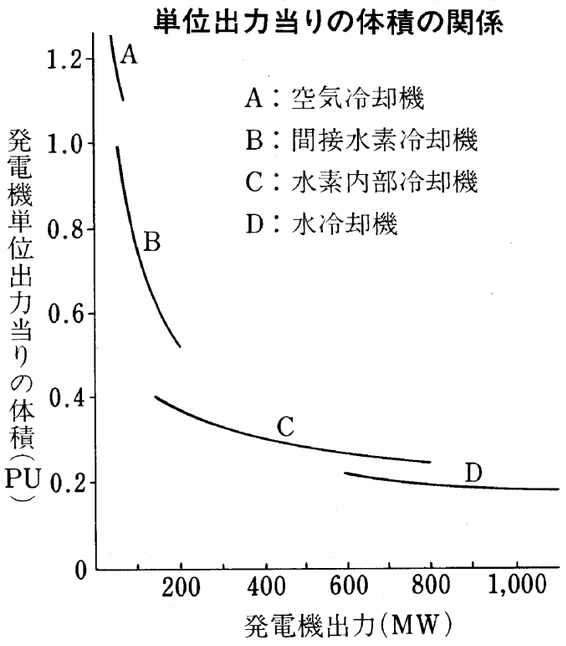
送電できる電力はおおざっぱにみて電圧の二乗に比例すると考えてよい。歴史的に見ると一九五一年にそれまでの一五四kVのほぼ二倍の二七五kVに昇圧され、一九七一年に二七五kVのほぼ二倍の五〇〇kVに昇圧されている。この間二〇年で電力需要は四倍になっている。次の昇圧が必要となるのは電力需要の将来予測からみて二十一世紀に入ってからと考えられる。

送電線の昇圧にあたって重要なのは異常電圧特に雷に対する防護技術である。五〇〇kVの送電においては、テレビの高電圧回路の異常電圧防止用として開発された酸化亜鉛形バリスターを大電力用に改良した避雷器によって経済的な送電線や機器の製作が可能となっていた。

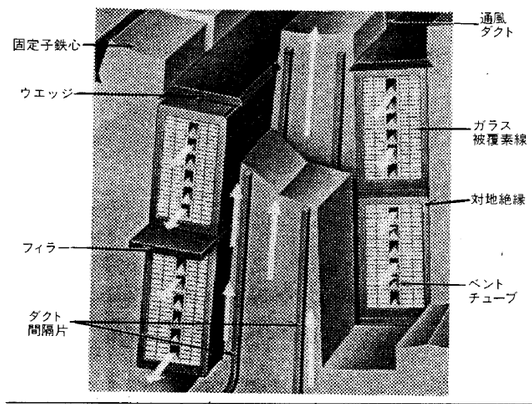
＝神経系統（制御）の高度化による信頼度の向上

日常生活における電力依存度が高まり、無停電に対する要求はますます強くなってきている。量的のみならず電力の質的な要求が厳しくなってきている。需要の増大とともに電力系統は巨大化、複雑化している。このシステムを間違いなく運転するためには、広い地域から情報を集め系統の状態を把握して、信頼度の高い系統運用をおこなうことが必要である。このためにはエレクトロニクスや計算機技術等の導入による計測・状態認識と系統の本質を探求し適切な制御をおこなう技術を確立することが肝要であろう。すなわち、マンモス化していく電力系統に付随する神経系統の充実と高性能化である。

（図-2）タービン発電機の各種冷却法と単位出力当りの体積の関係



（図3）水素内部冷却固定子コイルの断面



林助教授のプロフィル

昭和三十二年、京都大学工学部電気工学科を卒業、直ちに三菱電機に入社。はじめ中央研究所に勤務し、電力系統の解析、制御の研究に没頭した。発展途上にあったコンピュータの応用技術として、システムのモデル化、制御方式等の技術開発に従事、その後、神戸製作所に移り、発電プラントの設計を担当、次いで大電力試験設備、核融合監界プラズマ試験装置JT-60、高エネルギー加速器等のプロジェクト・マネジャーとして大型研究開発設備を建設、また新型炉、原子燃料サイクルチームのリーダーとして技術開発に中心的役割を果たして来た。

関西大学には昭和六十二年の着任。工学博士。

関西大学創立一〇〇周年記念事業資金
寄付申込者ご芳名

◆五万円
叶　克行（茨木市）
鎌内　伸元（西宮市）
鎌倉　昭雄（奈良県）
亀田　堅（広島県）
金井　一郎（東大阪市）
金丸　哲夫（堺市）
金田　正雄（奈良県）
金野　満（和泉市）
金本　義明（広島県）
金安清恵智（新潟県）
兼井幾久夫（岐阜県）
香川　俊夫（奈良県）
狩野　恵三（伊丹市）
勝野　正己（伊丹市）
神園　和幸（鹿児島県）
川合　史朗（三重県）
川口　清嘉（和歌山市）
川越　孝弘（高槻市）
川崎　敏博（高槻市）
川田　孝（奈良県）
北川　豊（大阪市）
北川　善英（広島県）
北峯　租（和歌山市）
北村　福男（奈良県）
木曽　澄生（富田林市）
木戸　昭（豊中市）
木下　正（鳥取市）
木原　繁夫（茨木市）
木原　敏雄（八尾市）
木村　孜（明石市）
木村　幸夫（和歌山県）
木邑　宗（松山市）
久保　幹雄（高松市）
窪田　覚（広島市）
工藤　信雄（高松市）
黒石　義三（大阪市）
黒田　康嗣（東津市）
黒田　米優（三重県）
倉原　明敏（東大阪市）
草場　康夫（奈良県）
楠本　正隆（河内長野市）
日下　守（和歌山市）
國富敬一郎（羽曳野市）
剱持　俊彦（岡山市）
越渡　一一（和歌山市）
越前　昭夫（神戸市）
河野　光伯（奈良県）
強田　重雄（池田市）
近藤　一民（岡山市）
近藤　浩（東大阪市）
後藤　演持（静岡県）
高野　文男（広島県）
児玉　謙一（鹿児島市）
小池　皓之（京都市）
小石川辰雄（福井県）
小西　文男（神戸市）
小畑　卿稔（姫路市）
小畑伊佐夫（和歌山市）
小林　滋雄（枚方市）
小林藤太郎（奈良県）
小林　久夫（奈良県）
小林　幹雄（新潟県）
小松　英一（大阪市）
小森　正夫（滋賀県）
小山　鐵男（神戸市）
米田　貞雄（大阪市）
境　弘資（熊本県）
佐々木正史（尼崎市）
佐藤　卓美（岡山県）
左高　靖（岐阜県）
坂上　実（埼玉県）
坂上　勲（和歌山県）
坂田　隆志（伊丹市）
坂本　章（姫路市）
坂本　征三（奈良市）
坂本　貴胤（和歌山市）
阪口　吉一（大阪市）
作田　實（熊本県）
桜井　靖芳（西宮市）
笹倉　吉男（西脇市）
酒井　正（滋賀県）
相良　孝好（福島県）
迫田　長光（姫路市）
迫田　時義（鳥取県）
澤田　誠（大阪・南河内郡）
齋藤　豪毅（大阪市）
佐藤　義夫（神戸市）
下池　義夫（神戸市）
下垣　玄支（神戸市）
下西　茂美（交野市）
下村　敬三（吹田市）
篠原　嘉夫（松山市）
柴田　清隆（広島市）
捨田利義猛（京都市）
重久　一夫（三重県）
重村　和男（宝塚市）
庄司　善男（奈良県）
城間　明（大阪市）
新谷　昌（兵庫・多紀郡）
神野　幾久（名古屋市）
清水喜久司（滋賀県）
清水　四郎（滋賀県）
清水　孝郎（宝塚市）
清水　孝範（吹田市）
島田　邦麿（奈良市）
島袋　繁雄（東大阪市）
嶋田　乾二（三重県）
白井　水満（茨木市）
白井　靖弘（静岡県）
洲濱　哲夫（島根県）
須内　弥（大阪市）
須崎　浩史（池田市）
杉下　隆三（門真市）
杉田　正美（高砂市）
杉田　行男（滋賀県）
杉本　滋彦（堺市）
末田　雄三（池田市）
鈴木八十二（大阪市）
鈴木　武成（津市）
鈴木　惟浩（神戸市）
鈴木　敏彦（東京都）
鈴木　英昭（三木市）
鈴木　昌明（奈良県）
鈴木　義昭（京都市）
鈴木　嘉晃（尼崎市）
鈴木　芳夫（愛知県）
関　憲二（徳島県）
関　健二（愛媛県）
関矢　恒（福井県）
妹尾　圭策（神戸市）
宗田　修平（豊中市）
曽和　健治（河内長野市）
高垣　健（和歌山市）
高橋　良雄（舞鶴市）
玉井　光幸（八尾市）
玉置　音七（東大阪市）
高木　賢明（香川県）
高木　俊次（宝塚市）
高田　正和（岡山県）
高野　文治（宮城県）
高橋　清（吹田市）
高橋　伸昌（西宮市）
高見　忠雄（姫路市）
高山　敬信（石川県）
多田　育生（和歌山市）
滝井　健司（京都・綴喜郡）
滝野　裕（福井県）
龍藤　豊広（和歌山市）
龍本　末吉（愛知県）
宅島　和良（東大阪市）
辰巳　雅英（神戸市）
谷口　時明（神戸市）
谷口　茂（泉佐野市）
谷口　稔（鳥取市）
谷口　保之（名古屋市）
谷後　直治（三田市）
谷村　貞馬（尼崎市）
谷本　節男（京都市）
谷本　正博（奈良県）
竹内　孝子（大阪市）
竹内　敏翁（徳島市）
竹内　範夫（徳島県）
竹内　甫（守口市）
竹内　寛（大阪・南河内郡）
竹川　宏一（奈良県）
竹田　幸雄（北海道）
竹村　忠成（福岡県）
田川　孝司（兵庫・加古郡）
田川　守男（金沢市）
田嶋　英敏（川西市）
田島　行雄（大阪市）
田中栄太郎（明石市）
田中　修（愛媛市）
田中　金治（福井県）
田中　国弘（堺市）
田中米一郎（大阪市）
田中　論（西宮市）
田中　保（奈良県）
田中　秋蔵（宇治市）
田中　康弘（松山市）
田中　数広（福岡県）
田中　嘉（兵庫・宍粟郡）
田中　桂（向日市）
田中　吉徳（高松市）
藤林　孝（山口市）
藤本　恵図（兵庫・宍粟郡）
藤本　守（奈良県）
藤山　頼次（山口県）
藤原　英夫（京都・竹野郡）
藤原　信行（八尾市）
船原　義丸（島根県）
藤井　聰一（神戸市）
藤井　忠男（京都市）
藤瀬　桂（向日市）
藤田　昭人（堺市）
藤原　博義（広島市）
古家　治彦（豊中市）
古谷　政治（京都市）
別所　昭（長岡京市）
細井　武夫（八尾市）
細川　鴻一（門真市）
細木　弘道（西宮市）
星川　浩（豊中市）
星田　博（泉南市）
北條　節子（京都市）
堀田　安郎（吹田市）
堀　重貴（明石市）
堀井　茂（豊中市）
堀川　光太（奈良市）
槙井　昭二（兵庫・神崎郡）
巻　功（広島市）
間下　頌司（柏原市）
松井　久夫（広島県）
松岡　三良（岐阜市）
松田喜代志（高槻市）
松田　孝三（西宮市）
松田　利一（奈良県）
松田　義弘（尼崎市）
松野　幸一（京都市）
松元　英志（高知市）
松本　毅（八尾市）
松本　弘幸（和歌山市）
松本　滋（大阪市）
永田　良和（奈良県）
永井　規夫（堺市）
永田　耕三（大阪市）
永田　滋（大阪市）
土屋　将城（奈良県）
寺本　勝治（岸和田市）
寺本　義和（守口市）
手嶋　親雄（明石市）
遠山　芳晴（奈良県）
戸田　紘一（西宮市）
戸髙　長吉（大分県）
刀禰　輝明（山口県）
峠　勉（豊岡市）
冨山　雄次（和歌山市）
豊川　徹（神戸市）
永井　規夫（堺市）
永田　耕三（大阪市）
永田　滋（大阪市）
永田　良和（奈良県）
中井　英夫（鳥取県）
中井　雪夫（奈良県）
中江　嵩長（岡山県）
中川　一夫（徳島市）
中川　孝志（寝屋川市）
中嶋　計彦（奈良県）
中嶋　延和（奈良県）
中谷　哲夫（滋賀県）
中田　十三（富山県）
中西　重男（高槻市）
中西デル子（泉大津市）
中野　欣也（大阪市）
中野　国彦（長崎県）
中野　拓美（姫路市）
中原　靖介（茨木市）
中道　勉（大阪市）
中村　憲一（大阪市）
中村　繁雄（枚方市）
中村　哲三（愛媛市）
中村　博（奈良市）
中村　正宏（高槻市）
中村　義治（大阪市）
中山　勝己（神戸市）
中山　将（大阪市）
中山　陸雄（和泉市）
仲本　定夫（守口市）
長手　久雄（洲本市）
長濱　盛人（鹿児島県）
内藤　四郎（千葉県）
鍋島　譲（寝屋川市）
新原　敏靖（松山市）
西井　晋（三重県）
西尾　敬三（岸和田市）
西尾　康一（奈良県）
西尾　洋子（鳥取市）
西岡　和彦（滋賀県）
西河　美春（柏原市）
西辻　忠（大津市）
西野　隆則（茨木市）
西野　義六（枚方市）
西原　晃（堺市）
西林　通夫（豊中市）
西村　茂（大阪市）
塗木　優（摂津市）
野口　一郎（堺市）
野口　州彦（愛知県）
野崎　哲夫（香川県）
野澤　昭一（岐阜市）
野澤　幸仁（福井市）
野尻　勇（寝屋川市）
野尻政太郎（岐阜県）
野瀬　栄（三田市）
野津　博幸（島根県）
濱田　善守（高知県）
花房　利亘（神戸市）
橋詰　信行（東京都）
橋本　佐平（柏原市）
橋本　武（奈良県）
原　信行（徳島県）
原　正雄（柏原市）
原田　享（金沢市）
秦　昌枝（大阪市）
秦　富啓（大東市）
早川　和夫（交野市）
長谷川利右ェ門（福井県）
八馬　康祐（兵庫・多可郡）
八家弥一郎（宝塚市）
濱口　弘幸（豊中市）
浜崎　健二（徳島県）
浜本日和子（香川県）
林　桂二郎（三重県）
濱崎　信雄（加古川市）
濱田章次郎（京都市）
久田　孟（西宮市）
東浦　秀雄（寝屋川市）
日比野陽三（愛知県）
樋口　護（西宮市）
平井　勲（川西市）
平尾　清治（大阪・泉南郡）
平川　忠明（姫路市）
平田　幸子（神奈川県）
平野　進也（相生市）
平野　義夫（長岡京市）
平林　邦雄（岐阜県）
平本　雄二（河内長野市）
平山　勉（大阪市）
平山　揚造（西宮市）
廣瀬　正静（門真市）
廣谷　一成（姫路市）
滝井　健司（京都・綴喜郡）
滝野　裕（福井県）
龍藤　豊広（和歌山市）
龍本　末吉（愛知県）
宅島　和良（東大阪市）
辰巳　雅英（神戸市）
谷口　時明（神戸市）
谷口　茂（泉佐野市）
谷口　稔（鳥取市）
谷口　保之（名古屋市）
谷後　直治（三田市）
谷村　貞馬（尼崎市）
谷本　節男（京都市）
谷本　正博（奈良県）
竹内　孝子（大阪市）
竹内　敏翁（徳島市）
竹内　範夫（徳島県）
竹内　甫（守口市）
竹川　宏一（奈良県）
竹田　幸雄（北海道）
竹村　忠成（福岡県）
田川　孝司（兵庫・加古郡）
田川　守男（金沢市）
田嶋　英敏（川西市）
田島　行雄（大阪市）
田中栄太郎（明石市）
田中　修（愛媛市）
田中　金治（福井県）
田中　国弘（堺市）
田中米一郎（大阪市）
田中　論（西宮市）
田中　保（奈良県）
田中　秋蔵（宇治市）
田中　康弘（松山市）
田中　数広（福岡県）
田中　嘉（兵庫・宍粟郡）
田中　桂（向日市）
田中　吉徳（高松市）
藤林　孝（山口市）
藤本　恵図（兵庫・宍粟郡）
藤本　守（奈良県）
藤山　頼次（山口県）
藤原　英夫（京都・竹野郡）
藤原　信行（八尾市）
船原　義丸（島根県）
藤井　聰一（神戸市）
藤井　忠男（京都市）
藤瀬　桂（向日市）
藤田　昭人（堺市）
藤原　博義（広島市）
古家　治彦（豊中市）
古谷　政治（京都市）
別所　昭（長岡京市）
細井　武夫（八尾市）
細川　鴻一（門真市）
細木　弘道（西宮市）
星川　浩（豊中市）
星田　博（泉南市）
北條　節子（京都市）
堀田　安郎（吹田市）
堀　重貴（明石市）
堀井　茂（豊中市）
堀川　光太（奈良市）
槙井　昭二（兵庫・神崎郡）
巻　功（広島市）
間下　頌司（柏原市）
松井　久夫（広島県）
松岡　三良（岐阜市）
松田喜代志（高槻市）
松田　孝三（西宮市）
松田　利一（奈良県）
松田　義弘（尼崎市）
松野　幸一（京都市）
松元　英志（高知市）
松本　毅（八尾市）
松本　弘幸（和歌山市）
松本　滋（大阪市）
永田　良和（奈良県）
永井　規夫（堺市）
永田　耕三（大阪市）
永田　滋（大阪市）
土屋　将城（奈良県）
寺本　勝治（岸和田市）
寺本　義和（守口市）
手嶋　親雄（明石市）
土橋　康男（堺市）
塚本　英司（和泉市）
辻　節郎（高松市）
鶴岡　勇（大阪市）
鶴巻　康平（高槻市）
土橋　康男（堺市）
土屋　将城（奈良県）
寺本　勝治（岸和田市）
寺本　義和（守口市）
手嶋　親雄（明石市）
遠山　芳晴（奈良県）
戸田　紘一（西宮市）
戸髙　長吉（大分県）
刀禰　輝明（山口県）
峠　勉（豊岡市）
冨山　雄次（和歌山市）
豊川　徹（神戸市）
永井　規夫（堺市）
永田　耕三（大阪市）
永田　滋（大阪市）
永田　良和（奈良県）
中井　雪夫（奈良県）
中江　嵩長（岡山県）
中川　一夫（徳島市）
中川　孝志（寝屋川市）
中嶋　計彦（奈良県）
中嶋　延和（奈良県）
中谷　哲夫（滋賀県）
中田　十三（富山県）
中西　重男（高槻市）
中西デル子（泉大津市）
中野　欣也（大阪市）
中野　国彦（長崎県）
中野　拓美（姫路市）
中原　靖介（茨木市）
中道　勉（大阪市）
中村　憲一（大阪市）
中村　繁雄（枚方市）
中村　哲三（愛媛市）
中村　博（奈良市）
中村　正宏（高槻市）
中村　義治（大阪市）
中山　勝己（神戸市）
中山　将（大阪市）
中山　陸雄（和泉市）
仲本　定夫（守口市）
長手　久雄（洲本市）
長濱　盛人（鹿児島県）
内藤　四郎（千葉県）
鍋島　譲（寝屋川市）
新原　敏靖（松山市）
西井　晋（三重県）
西尾　敬三（岸和田市）
西尾　康一（奈良県）
西尾　洋子（鳥取市）
西岡　和彦（滋賀県）
西河　美春（柏原市）
西辻　忠（大津市）
西野　隆則（茨木市）
西野　義六（枚方市）
西原　晃（堺市）
西林　通夫（豊中市）
西村　茂（大阪市）
塗木　優（摂津市）
野口　一郎（堺市）
野口　州彦（愛知県）
野崎　哲夫（香川県）
野澤　昭一（岐阜市）
野澤　幸仁（福井市）
野尻　勇（寝屋川市）
野尻政太郎（岐阜県）
野瀬　栄（三田市）
野津　博幸（島根県）
濱田　善守（高知県）
花房　利亘（神戸市）
橋詰　信行（東京都）
橋本　佐平（柏原市）
橋本　武（奈良県）
原　信行（徳島県）
原　正雄（柏原市）
原田　享（金沢市）
秦　昌枝（大阪市）
秦　富啓（大東市）
早川　和夫（交野市）
長谷川利右ェ門（福井県）
八馬　康祐（兵庫・多可郡）
八家弥一郎（宝塚市）
濱口　弘幸（豊中市）
浜崎　健二（徳島県）
浜本日和子（香川県）
林　桂二郎（三重県）
濱崎　信雄（加古川市）
濱田章次郎（京都市）
久田　孟（西宮市）
東浦　秀雄（寝屋川市）
日比野陽三（愛知県）
樋口　護（西宮市）
平井　勲（川西市）
平尾　清治（大阪・泉南郡）
平川　忠明（姫路市）
平田　幸子（神奈川県）
平野　進也（相生市）
平野　義夫（長岡京市）
平林　邦雄（岐阜県）
平本　雄二（河内長野市）
平山　勉（大阪市）
平山　揚造（西宮市）
廣瀬　正静（門真市）
廣谷　一成（姫路市）
福井　信行（八尾市）
福岡　修造（西宮市）
福島　悠子（京都市）
福永　番（交野市）
別所　昭（長岡京市）
細井　武夫（八尾市）
細川　鴻一（門真市）
細木　弘道（西宮市）
星川　浩（豊中市）
星田　博（泉南市）
北條　節子（京都市）
堀田　安郎（吹田市）
堀　重貴（明石市）
堀井　茂（豊中市）
堀川　光太（奈良市）
槙井　昭二（兵庫・神崎郡）
巻　功（広島市）
間下　頌司（柏原市）
松井　久夫（広島県）
松岡　三良（岐阜市）
松田喜代志（高槻市）
松田　孝三（西宮市）
松田　利一（奈良県）
松田　義弘（尼崎市）
松野　幸一（京都市）
松元　英志（高知市）
松本　毅（八尾市）
松本　弘幸（和歌山市）
松本　滋（大阪市）
永田　良和（奈良県）
永井　規夫（堺市）
永田　耕三（大阪市）
永田　滋（大阪市）
土屋　将城（奈良県）
寺本　勝治（岸和田市）
寺本　義和（守口市）
手嶋　親雄（明石市）
土橋　康男（堺市）
塚本　英司（和泉市）
辻　節郎（高松市）
鶴岡　勇（大阪市）
鶴巻　康平（高槻市）
土橋　康男（堺市）
土屋　将城（奈良県）
寺本　勝治（岸和田市）
寺本　義和（守口市）
手嶋　親雄（明石市）
遠山　芳晴（奈良県）
戸田　紘一（西宮市）
戸髙　長吉（大分県）
刀禰　輝明（山口県）
峠　勉（豊岡市）
冨山　雄次（和歌山市）
豊川　徹（神戸市）
永井　規夫（堺市）
永田　耕三（大阪市）
永田　滋（大阪市）
永田　良和（奈良県）
中井　雪夫（奈良県）
中江　嵩長（岡山県）
中川　一夫（徳島市）
中川　孝志（寝屋川市）
中嶋　計彦（奈良県）
中嶋　延和（奈良県）
中谷　哲夫（滋賀県）
中田　十三（富山県）
中西　重男（高槻市）
中西デル子（泉大津市）
中野　欣也（大阪市）
中野　国彦（長崎県）
中野　拓美（姫路市）
中原　靖介（茨木市）
中道　勉（大阪市）
中村　憲一（大阪市）
中村　繁雄（枚方市）
中村　哲三（愛媛市）
中村　博（奈良市）
中村　正宏（高槻市）
中村　義治（大阪市）
中山　勝己（神戸市）
中山　将（大阪市）
中山　陸雄（和泉市）
仲本　定夫（守口市）
長手　久雄（洲本市）
長濱　盛人（鹿児島県）
内藤　四郎（千葉県）
鍋島　譲（寝屋川市）
新原　敏靖（松山市）
西井　晋（三重県）
西尾　敬三（岸和田市）
西尾　康一（奈良県）
西尾　洋子（鳥取市）
西岡　和彦（滋賀県）
西河　美春（柏原市）
西辻　忠（大津市）
西野　隆則（茨木市）
西野　義六（枚方市）
西原　晃（堺市）
西林　通夫（豊中市）
西村　茂（大阪市）
塗木　優（摂津市）
野口　一郎（堺市）
野口　州彦（愛知県）
野崎　哲夫（香川県）
野澤　昭一（岐阜市）
野澤　幸仁（福井市）
野尻　勇（寝屋川市）
野尻政太郎（岐阜県）
野瀬　栄（三田市）
野津　博幸（島根県）
濱田　善守（高知県）
花房　利亘（神戸市）
橋詰　信行（東京都）
橋本　佐平（柏原市）
橋本　武（奈良県）
原　信行（徳島県）
原　正雄（柏原市）
原田　享（金沢市）
秦　昌枝（大阪市）
秦　富啓（大東市）
早川　和夫（交野市）
長谷川利右ェ門（福井県）
八馬　康祐（兵庫・多可郡）
八家弥一郎（宝塚市）
村垣　光夫（大阪市）
牟田　忠彦（吹田市）
森　禎良（川西市）
森　禰三（吹田市）
森　健（岡山県）
森　哲彦（奈良県）
森　博志（宝塚市）
森　弘文（大分県）
森　晋（広島県）
森　輝己（津市）
森　義昭（大阪市）
森垣　浩二（大阪市）
森田　禎一（加古川市）
森田東洋男（兵庫・加古郡）
森永　節雄（徳島県）
森光　修（神戸市）
森本　徹（守口市）
森本　英男（大阪市）
森岡　周二（岡山県）
森重　善重（松原市）
山内　勉（静岡県）
山口　幸男（大阪市）
山崎　修一（舞鶴市）
山崎　行男（舞鶴市）
山下　勝（和歌山県）
山田　薫（奈良市）
山田啓二郎（和歌山市）
山田　進（茨木市）
山田　剛（兵庫・多紀郡）
山田　正夫（枚方市）
山田　良治（枚方市）
山西　武治（大阪市）
山西　隆治（和歌山県）
山本　和之（東大阪市）
山本　喜一（堺市）
山本　健一（大阪市）
山本幸太郎（吹田市）
山本　隆正（岡山県）
山本　浩（奈良県）
山本　幹夫（京都市）
矢内　誠三（姫路市）
矢内　誠三（姫路市）
吉岡　邦雄（神戸市）
吉村　和彦（石川県）
吉村　裕芳（広島市）
横山　和繁（香川県）
吉兼昭四郎（山口県）
吉川　忠（奈良県）
吉川　博見（徳島県）
吉田　信治（名古屋市）
吉田　安司（神戸市）
吉村　栄一（奈良県）
吉村　義一（山口県）
米川　仁（岡山県）
米山　治三（川西市）
利根　武久（福岡県）
渡辺　昭延（鳥取県）
渡辺　寛次（愛知県）
和三弘磨呂（高槻市）
和田　一民（尼崎市）
和田　忠司（豊岡市）
和田　勉（西宮市）
和田　容二（伊丹市）
脇坂　哲夫（茨木市）

◇本掲載分以後の寄付申込者のご芳名については、次号に掲載致します。

関大、関大一高・一中、幼稚園御用命
特製　学章・校章型菓蒻
和洋御菓子司
株式会社 昌月堂
〒556 大阪市浪速区難波中3丁目13—28
（難波府立体育会館南通り公園前）
電話 641—1666㈹
641—6565
FAX 647—6478
常務取締役 山本 雅巳
（昭和53年学1法卒）
特別割引券 関大Ⓢ

名簿在庫少々あり

「校友名簿昭和63年版」は在庫が少なくなってきました。ご入用の方は校友会事務局へ申し込んで下さい。頒価一万円（送料込み）

全国仲人連合会結婚相談所
—関大卒業生は入会金無料—
579東大阪市本町4-3　☎0729-86-0002
566摂津市千里丘2-9-34　☎06-388-8092
大谷 杲（29学1経卒）

＊ウーロン茶の最高級品！中国直輸入
特に肥満体質の方に最適
●無農薬・カルシウム465mg/100gが多く、カフェインは微量(0.007)！冷やして飲んでも最高です。
減 やせたい方に 量
アルカリ飲料 美容健康茶
ウエイトコントロール 味はまろやかでマイルド
●ティーバッグ 20袋入 3,000円
●特選ティーバッグ 50袋入 5,500円
●特選ティーバッグ お徳用箱入 130袋入 12,000円
●特選ティーバッグ 300袋入 30,000円
楊貴妃 ヨーロッパキヒ
中国皇茶 楊貴妃
●お求めは全国デパート・薬局・薬店・茶舗・スーパー・酒販店でどうぞ
お問い合わせ……サンプル差し上げます。
中国直輸入総発売元 株式会社タムラ
大阪市北区芝田2-6-18 商工中金ビル ☎(06)373-2101㈹
試供品請求券 K係

ダイヤモンドホーローバス製造元
各種大型プレス・製缶事業
赤井物産株式会社
高級染料及び中間物製造販売元
神戸化学工業株式会社
大阪興業株式会社
取締役社長 赤井常隆
本社 〒550 大阪市西区北堀江一丁目一—一八 電話大阪〇六(五三八)代表三六二一～六番
東京支店 〒101 東京都千代田区東神田二丁目二番八号 電話東京〇三(八六二)代表五四七一～四番
工場 静岡・神戸

Construction Fastening Consultant'
〈営業品目〉
建設用ファスナー類及び附属品の製造、販売、施工、コンサルタント、トンネル内装工事並びにその他工事の設計、施工
株式会社 ケー・エフ・シー
代表取締役 高田俊治
本社 大阪市北区西天満3—2—17 電話(06)—363—4188(代)
支店 東京都港区東新橋2—4—10 電話(03)—433—5611(代)
営業所
城北(03)963—8121代　名古屋(052)262—5411代　岡山(0862)72—4612
札幌(011)521—2592代　京都(075)312—4947代　広島(0822)91—6262
横浜(045)641—2371代　大阪(06)363—4126代　北九州(093)581—4857代
静岡(0542)82—0151代　神戸(078)671—3331代　福岡(092)461—2735

各種鋳鋼品
橋梁高架用沓並に伸縮継手
薄肉スパイラル熔接鋼管
日本鋳鋼会々員　日本海事協会認定工場
ノルウェー船級協会認定工場　ピューローペリタス船級協会認定工場
米国船級協会認定工場　ロイド船級認定工場
KSK 呉羽製鋼株式会社
代表取締役 森 正治
本社 〒555 大阪市西淀川区竹島五丁目四番四十一号 電話大阪〇六(471)四三三一(代表)～四番 ファクシミリ〇六(475)〇五三一
福知山工場 〒620 福知山市長田野町一丁目三〇番地 電話福知山(27)二七六一番(代表)
東京営業所 〒101 東京都千代田区岩本町三丁目十一番八号 イワモトチョービル六階 電話東京〇三(861)五七一八番

プランニングから印刷までをトータルでプロモートする
東洋紙業株式会社
取締役社長 朝日多光
大阪本社：大阪市浪速区芦原1—3 ☎(06)567—2111(大代表) 〒556
東京本社：東京都品川区南品川6—1 ☎(03)450—2111(大代表) 〒140
工場：関西/芦原 平野 美原 東大阪
関東/品川 横浜 王子
営業所・関連工場：札幌 名古屋 徳島 広島 九州
営業品目：企画・デザイン 一般印刷 出版印刷 ビジネスフォーム 紙器 特殊印刷